令和２年度以降に任用される臨時・任期付職員の共済組合について（補足）

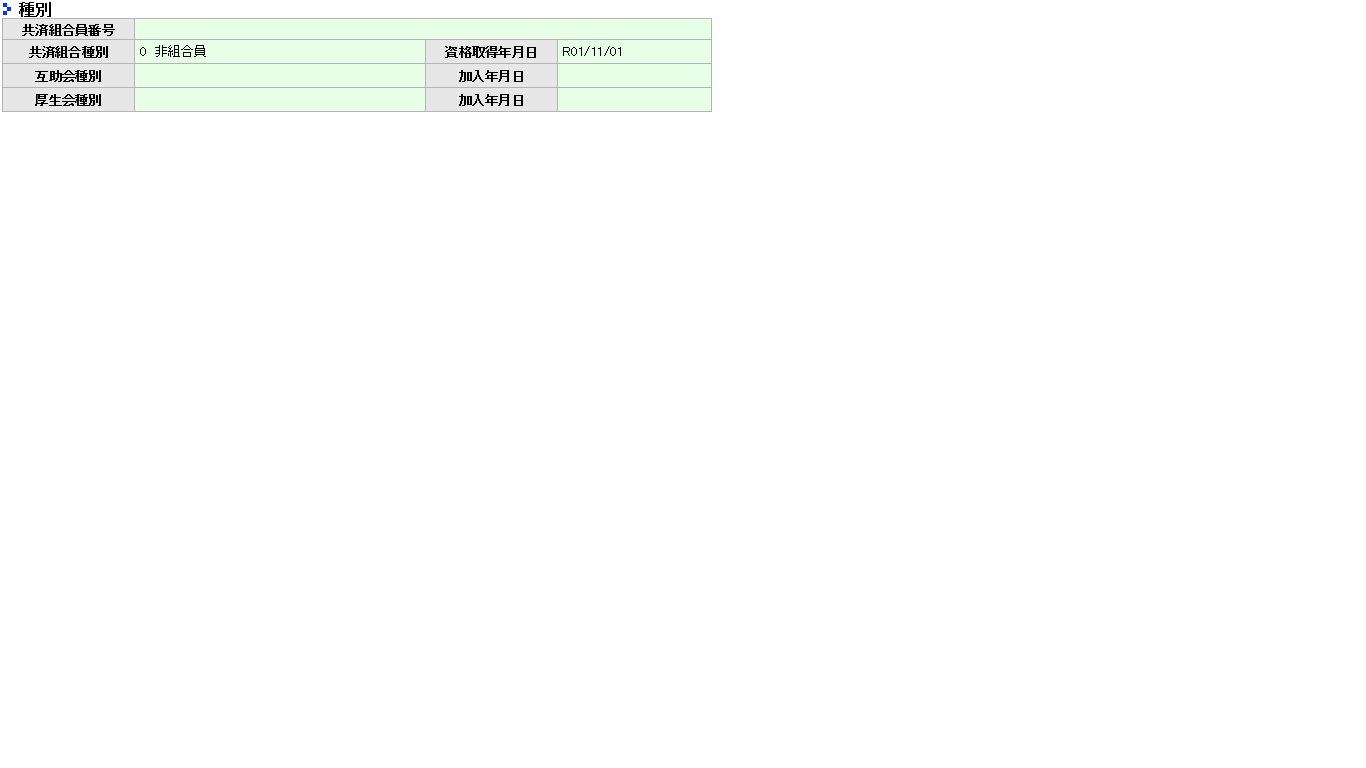
１　【Ｑ０１】（職員情報）の共済種別等自動設定について

令和２年度以降に任用される臨時的任用教職員・任期付職員については、原則共済組合に加入することになるため、人事データが登録されると【Ｑ０１】の「共済組合種別」「資格取得年月日」が自動設定されます。

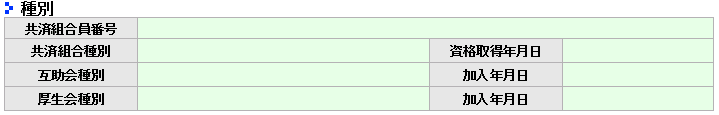
ただし、以下の場合は自動設定されませんので注意してください。

［自動設定される例］

1. 直近の履歴が「非組合員」である

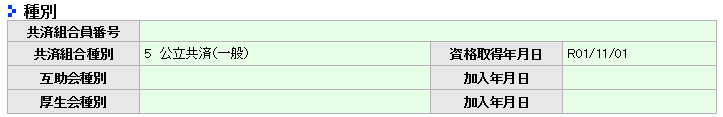


1. 直近の履歴が「空白」である



［自動設定されない例］

直近の履歴が「組合員」である



※　任用期間に空白がない（例：令和４年３月31日まで共済組合員であり、令和４年４

月１日以降も臨時的任用等で共済組合員となる）場合は、新たに資格取得する必要はあ

りません。

※　任期満了に伴う資格喪失の場合、「非組合員」は自動設定されません。

〈具体例〉

Ａ．組合員期間：①令和３年11月１日～令和４年３月18日②令和４年４月１日～令和

４年９月30日の場合

⇒任期満了に伴う資格喪失のため「非組合員」の自動設定がされず、共済種別等にお

いても自動設定されない。

Ｂ．組合員期間：①令和３年11月１日～令和４年３月31日②令和４年４月１日～令和

４年９月30日の場合

⇒任用期間に空白がないため、新たに資格取得する必要はない。

２　【Ｑ６６】（共済標準報酬情報登録）の設定について

(1) 標準報酬月額等級の自動算定について

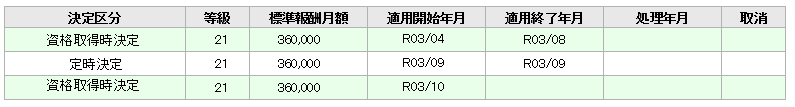
これまで同様、資格取得をした年月の例月処理までに【Ｑ０１】の共済種別等が入力されると、【Ｑ６６】に共済標準報酬等級が自動で算定されます。

ただし、共済資格を取得した翌月以降に資格取得月に遡及して手当が支給される場合、正しい標準報酬月額で算定されないため、等級の修正が必要です。また、月の途中資格取得者について、給料や各種手当が日割支給されている場合も、初日に資格を取得したとして受給すべき給与額で算定し直す必要があります。

上記に該当する場合は、必ず資格取得時の標準報酬月額を見直し、【Ｑ６６】から等級履歴を修正してください。

(2) 標準報酬月額等級の入力について

任用期間に空白があり、新たに任用されたため共済組合資格を取得した場合は、必ず【Ｑ６６】より決定区分を「資格取得時決定」として入力してください。

　〈具体例：任用期間が、①令和３年４月１日～９月15日②令和３年10月１日～11月30日の場合〉

※　等級が変わらない場合も、必ず「決定区分：資格取得時決定」「適用開始年月日：

資格取得年月」として入力してください。

※　任用に空白がなく、所属を異動した場合は、共済組合へ「組合員異動報告書」の提

出をしてください。